



▼自慢のパンやお菓子を買求める来場者と会話を楽しむ古田さん（右）



古民家ホテル「NIPPONIA 甲佐疏水の郷」内に店舗を構える古田良子さん（大町区）は自慢のパンなどを販売。「このマルシェを通して、これまで甲佐町を訪れたことがない皆さんにこのまちのいいところを届けられたら嬉しい」と笑顔で話しました。

上益城の魅力が詰まった2日間

かみましきマルシェが開催

3月5日（土）～6日（日） 蔦屋書店熊本三年坂店（熊本市中央区）で、上益城の特産品や店舗が軒を連ねた販売会「かみましきマルシェ」が開催されました。

この販売会は、豊かな自然に囲まれながらも都市圏に近い「ちょうどいい田舎・上益城」をPRしようと県上益城地域振興局が開催。上益城5町の8店舗が、農産物や加工品、雑貨など自慢の商品を並べて、来場者に上益城地域の魅力を発信しました。会場では、山都町の伝統芸能「清和文楽」の展示なども行われ、足を止めた買い物客らが店主との会話を楽しみました。

町への寄附企業に感謝状

企業版ふるさと納税制度

3月18日（金）本庁舎で、本町へ寄附いただいた未来創造株式会社（熊本市、松永浩司代表取締役）と株式会社南星（熊本市、宮部康弘代表取締役）に感謝状が贈られました。

町では今年度から企業版ふるさと納税制度による寄附を活用した地方創生に取り組んでおり、同制度を活用した寄附は今回がはじめて。感謝状を手渡した奥名町長は「2社からいただいた寄附金は、本町の地方創生を押し進めていくために大切に使いたい」と感謝を示しました。



▲未来創造の松永代表取締役（左）と南星の宮部代表取締役



▲表彰状を受け取った本田さん（右）と岡本さん

スポーツのチカラで元気な町を

本田さん・岡本さんにスポーツ推進委員功労者表彰

3月2日（水）教育長室で、九州地区と県のスポーツ推進委員功労者表彰の伝達式が行われ、本田尚子さん（上早川三区）と岡本泰文さん（辺場区）に表彰状が手渡されました。

同表彰は、生涯スポーツや地域スポーツの振興に貢献したスポーツ推進委員などを表彰するもの。本田さんは、甲佐町スポーツ推進委員として町民の体力向上やスポーツ・健康の意識高揚などに15年以上従事。岡本さんも9年以上甲佐町スポーツ推進委員として甲佐町体育協会が主催する駅伝大会の運営に参加するなど長年の貢献が評価され、今回の受賞となりました。

「広報こうさ」が県3位入選

第65回県広報コンクール

1月12日（水）第65回熊本県広報コンクールの審査が熊本日日新聞本社で行われ、「広報こうさ」が広報紙部門・町村部で3位となる佳作を受賞しました。

同コンクールは、市町村の広報活動の活性化および広報紙編集技術の向上を目的に県内自治体の広報担当課でつくる県広報協会と熊本日日新聞社が主催。本紙が同コンクールで入選するのは平成23年以来10年ぶり、広報紙の部では平成13年の佳作受賞以来20年ぶりとなりました。



▲甲佐町で素晴らしい活動が続ける皆さんと作った広報紙



▲宮司の赤星さん（右）から説明を受ける参加者

甲佐神社とつながる宮内の暮らし

宮内地区社会福祉協議会が地域を学ぶ

2月12日（土）甲佐神社で講演会が開催され、地域住民が地域の歴史を見つめました。

この催しは宮内地区社会福祉協議会（園田豊会長）が同神社で宮司を務める赤星出さん（上揚区）を講師に開催。同協議会のメンバー約20人が、コロナ終息祈願の後、宮内地区に息づく甲佐神社の歴史を学びました。

赤星さんは甲佐神社の興りや境内にある主祭神の御陵地、国宝「蒙古襲来絵詞」などについて説明。参加した後藤ハルミさん（上揚区）は、「地元の神社だが、知らないことも多くあった。歴史ある甲佐神社を未来に残していきたい」と話しました。

春の里山を歩いて体感

甲佐町ふるさとふれあいウォーク



▲免の山周辺を歩いて巡るふるさとふれあいウォークで、小雪が舞う中菜の花が咲く陣ノ内城跡を散策する参加者の皆さん

2月20日（日）町役場から国指定史跡「陣ノ内城跡」を歩いて巡る、ふるさとふれあいウォークが開催されました。

このウォーキングイベントは、新たな地域資源の掘り起しとその魅力に触れてもらうことを目的に、地域の活性化に取り組む「農村の豊かさと福祉を学ぶふるさと自然塾」（高橋恵子代表）が主催。町内外から参加した約30人が、陣ノ内城跡に残された大規模な空堀や土塁を巡る約5キロのコースを散策しながら、菜の花が咲く里山の春を楽しみました。

散策中、ガイド役を務めた自然観察指導員の中田裕一さん（宇城市）が木々の芽吹きなどを丁寧に説明。陣ノ内城跡では甲佐町文化財保護委員の北里義友さん（津志田区）の説明を聞きながら参加者はその大きさを体感しました。

イベントを企画した高橋さんは「陣ノ内城跡にはじめて訪れたという声も多かった。実際に現地を歩いてもらうことで、甲佐の良いところを五感で感じてもらえたら」と笑顔を見せました。